

資料 2

【別紙資料】

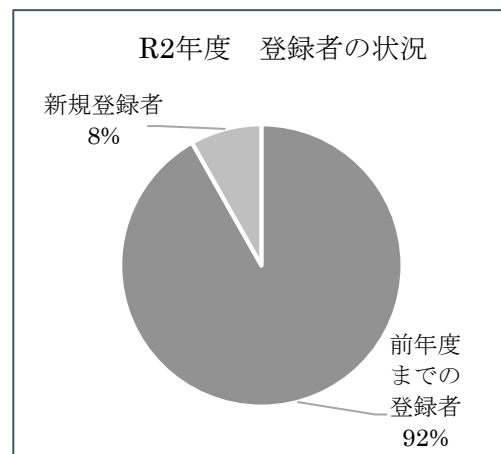
発達障がい者就業支援コーディネーター事業
実施状況（令和 2 年度・令和 3 年 6 月末）

令和3年度 発達障がい者就業支援コーディネーター事業報告

大阪市障がい者就業・生活支援センター
(担当 前田)

1. 登録者の状況

	R1年度	R2年度	R3.6末
登録者数	213	232	227
前年度までの登録者数	161	213	213
新規登録者数	52	19	14



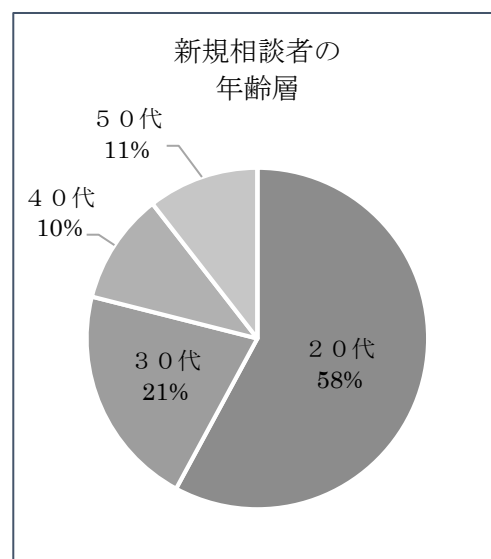
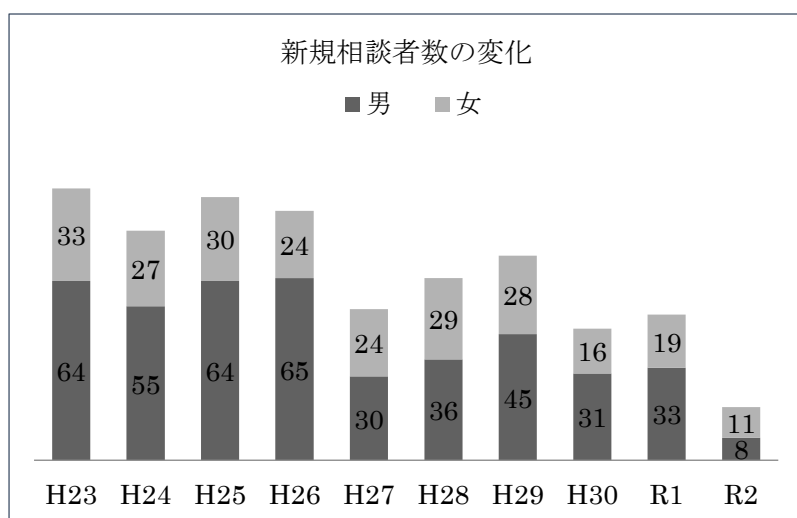
2. 令和2年度新規登録者の状況

(1) 新規相談者数の変化

年度	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	合計
相談者数	63	97	82	94	89	54	65	73	47	52	19	735
男	34	64	55	64	65	30	36	45	31	33	8	465
女	29	33	27	30	24	24	29	28	16	19	11	270

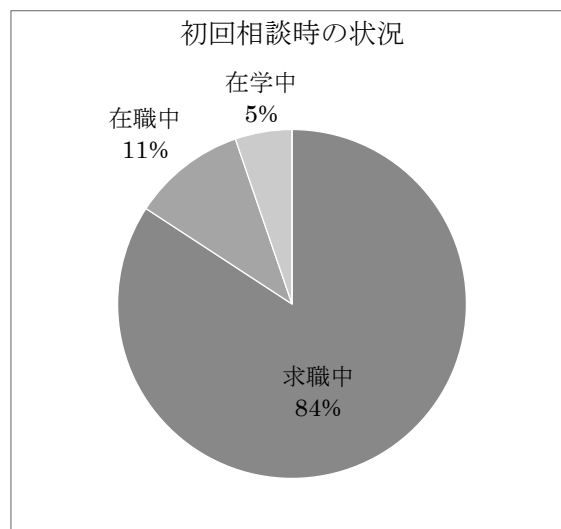
(2) 新規相談者の年齢層

年齢層	10代	20代	30代	40代	50代	60代	合計
全体	0	11	4	2	2	0	19
男	0	5	2	1	0	0	8
女	0	6	2	1	2	0	11



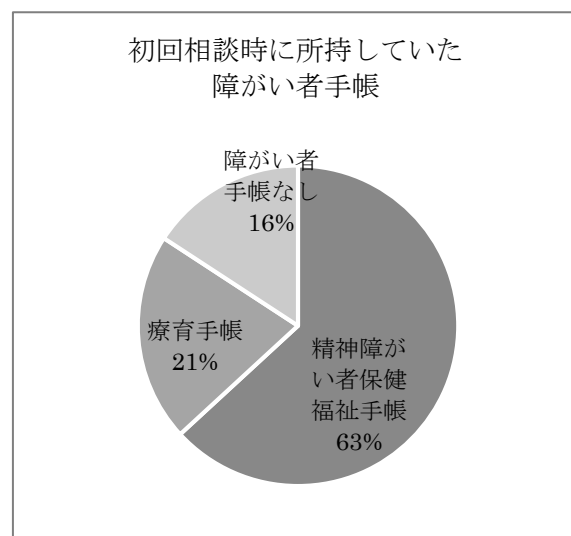
(3) 初回相談時の状況

初回相談時の状況	人数
求職中	16
在職中（内休職者）	2(0)
障がい者雇用	1
一般雇用	0
就労継続A型	1
在学中	1
高等学校	0
専門学校	0
大学	1
その他	0
合計	19



(4) 初回相談時に所持していた障がい者手帳の種類

障がい者手帳の種類	人数
精神障がい者保健福祉手帳	12
療育手帳	4
障がい者手帳なし	3
合計	19



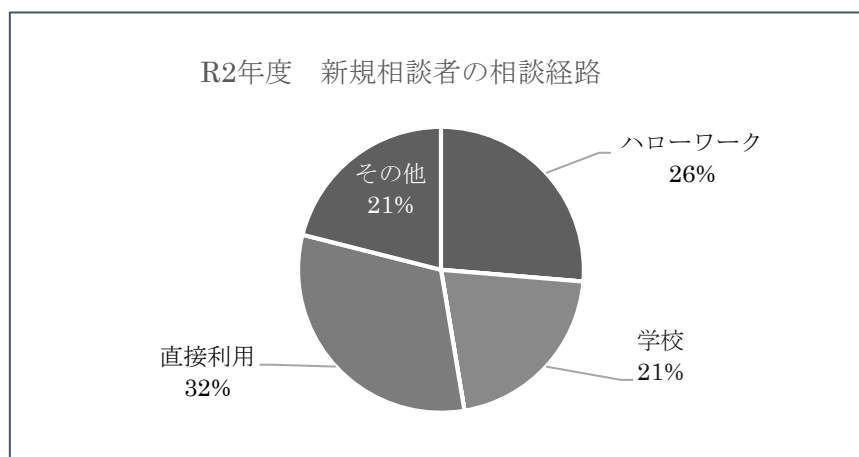
・初回相談時は手帳なしとはあるが、3名とも申請中ではあった。

(5) 相談の内容(一部)

・A型事業所を利用しているが自分の希望とあったところではなかったので別の事業所を一緒に探してほしい。

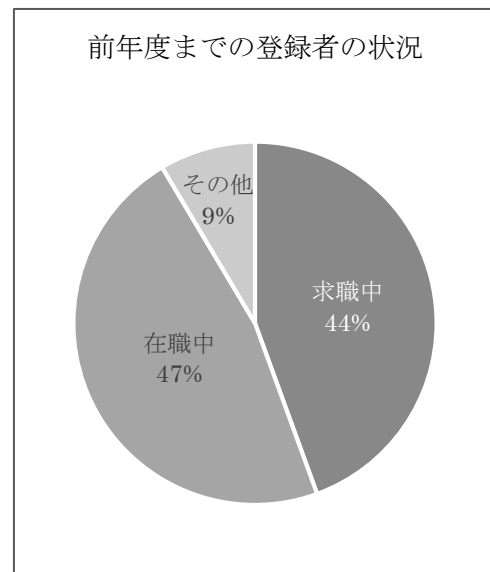
(6) 新規相談者の利用経路（利用するに至った経緯・経路）

利用経路	H30 年度	R1 年度	R2 年度
① ハローワーク	12	17	5
障がい者窓口	8	9	2
わかものハローワーク	4	8	3
② 大阪障害者職業センター	0	2	0
③ 学校	0	3	4
特別支援学校	0	0	0
上記以外の学校	0	3	4
④ 就労移行支援事業所	0	1	0
⑤ 上記④以外の福祉サービス事業所	1	1	0
⑥ 市役所等の行政機関	8	1	0
区役所	8	1	0
はーとふるふらざ	0	0	0
⑦ 直接利用（家族含む）	17	18	6
ホームページ	3	5	2
家族・知人・当事者会	14	13	4
⑧ 上記以外	9	9	4
発達障がい者支援センター	7	2	1
医療機関	1	3	2
困窮者支援機関	0	0	0
企業	1	2	0
就業・生活支援センター	0	1	0
一般向け相談機関	0	0	1
人材紹介サービス(障がい者専用)		1	0
合計	47	52	19



3. 令和2年度の登録者の状況

前年度までの登録者の状況	人数
求職中	104
就労移行	20
就労移行以外の福祉サービス (継続B、自立訓練)	9
職業能力開発校	1
定期相談・ハローワーク同行等	74
在職中 (休職中)	110
障がい者雇用	81
一般雇用	15
就労継続A型	14
その他	20
合計	234



4. 全登録者への相談・支援状況

(1) 相談・支援件数 (内容別 延べ件数)

内容	H30 年度	R1 年度	R2 年度
就職に向けた相談・支援	759	1068	466
職場定着に向けた相談・支援	358	285	248
就業と生活両方にわたる相談・支援	334	313	223
合計	1451	1666	937

(2) 相談・支援件数 (手段別・延べ件数)

手段	H30 年度	R1 年度	R2 年度
センターへの来所	203	282	175
電話・FAX・メール	871	1052	589
職場訪問 (延べ訪問回数)	126	174	112
家庭・入所施設への訪問	3	4	18
その他 (ハローワーク・医療機関・区役所等への 同行、ケース会議等)	248	318	168
合計	1451	1830	1062

(3) 職場定着支援・職場復帰支援

① 本人に対する支援

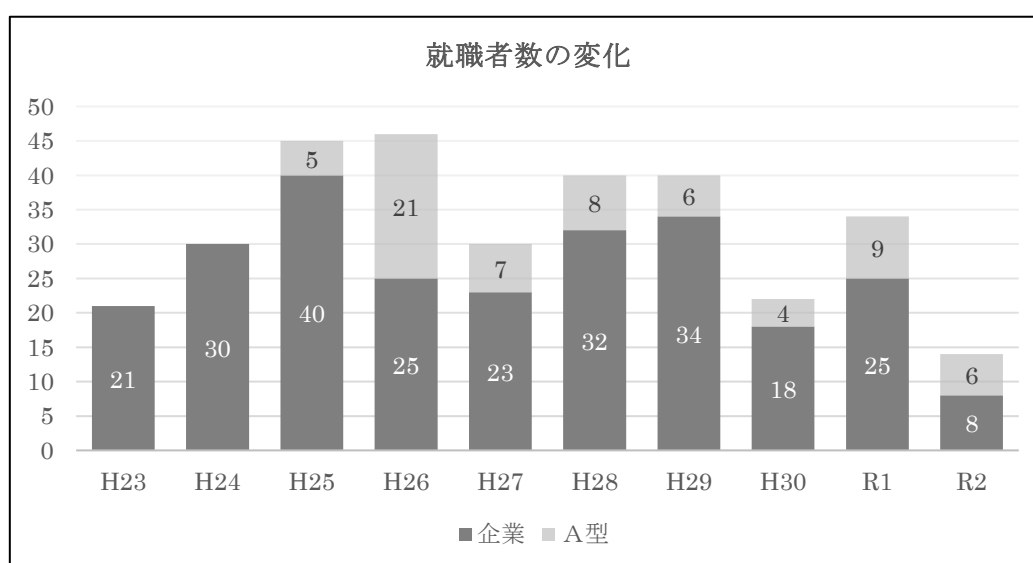
	H30年度	R1年度	R2年度
支援対象者数（在職者総数）	77	100	110
職場定着に向けた相談・支援 （来所相談、電話等、職場訪問、家庭訪問など）	358	285	248
職場訪問件数	102	151	147
職場訪問実人数	21	23	25

② 事業所に対する支援

	H30年度	R1年度	R2年度
支援を実施した事業所数	32	43	36
来所	1	9	4
電話・メール・FAX	53	69	62
職場訪問	116	131	88
その他（ケース会議等）	2	7	3
合計	204	259	193

5. 就職者数の変化

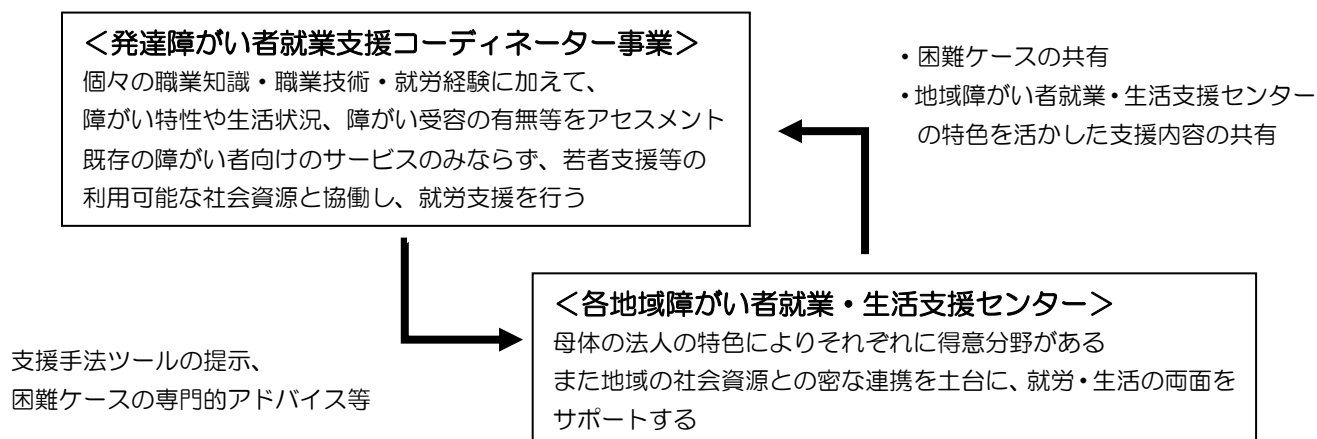
年度	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2
企業	6	21	30	40	25	23	32	34	18	25	8
A型	—	—	—	5	21	7	8	6	4	9	6
合計	6	21	30	45	46	30	40	40	22	34	14



令和2年度就職者一覧

No.	障がい者手帳	診断名	年代	性別	就職時における一般枠の有無	採用日	就職までに要した期間(月)	定着状況	職種・業種	週労働時間	相談経路	初回相談時の状況		利用した社会資源等
												求職状況	状況	
1	精神	ADHD	30	男		R2/4/1	14ヵ月		一般事務	30時間以上	わかものハローワーク	求職中	一般で働かれていた経験あり。訓練校(一般)にも行き就職したがうまくいかず。	ハローワーク 障害者職業センター
2	精神	自閉症スペクトラム	30	女		R2/4/2	7ヵ月		一般事務	30時間以上	職業センター	求職中	一般で働かれていた経験あり。準備支援を利用して相談。	ハローワーク 障害者職業センター
3	精神	自閉症スペクトラム	20	男		R2/4/20	3ヵ月		一般事務	30時間以上	学校(大学)	在学中	発達の疑いがありオープンでの就労を希望。※今回の就職は支援中2回目	ハローワーク 障害者職業センター
4	精神	自閉症スペクトラム ADHD	30	男		R2/6/1	34ヵ月		清掃・軽作業	30時間以上	相談支援	求職中	就労移行利用中。2年で就職できずB型を利用され定着支援が利用できないとのことで再支援希望	就労移行支援事業所 B型事業所
5	精神	自閉症スペクトラム	20	男		R2/6/8	26ヵ月		事務補助	30時間以上	学校(一般)	在学中	学校卒業後の進路について相談。訓練校を希望される。	職業訓練校
6	精神	自閉症スペクトラム	20	男		R2/8/4	16ヵ月		一般事務	30時間以上	わかものハローワーク	求職中	他県より転入。ステップアップを考えてまずはA型での訓練から一般就労を希望。	わかものハローワーク
7	療育	自閉症スペクトラム	20	男		R2/10/9	1ヵ月		品だし・接客	20時間以上 30時間未満	医療機関	求職中	一般で働かれていた経験あり。オープンでの就労を希望。通信制の学校も今後検討しているので短時間就労希望され相談。	ハローワーク
8	療育	自閉症スペクトラム	40	男		R2/10/16	13ヵ月		軽作業	20時間以上 30時間未満	ハローワーク (障がい者窓口)	求職中	就労移行支援事業所にて訓練中。仕事の体験ができるのであれば紹介してほしいと相談。	就労移行支援事業所 ハローワーク
9	精神	ADHD	20	女		R2/8/3	20ヵ月		軽作業 (A型事業所)	20時間以上 30時間未満	エルムおおさか	求職中	家の自営の手伝いをしている。訓練の必要もわかっていて訓練先を相談。	ハローワーク B型事業所 障害者職業センター
10	精神	自閉症スペクトラム	20	女		R2/8/3	1ヵ月		軽作業 (A型事業所)	20時間以上 30時間未満	直接利用	就労中(カウントなし)	A型事業所にて就労中。別のA型事業所を希望される。	ハローワーク A型事業所
11	精神	ADHD	20	女		R2/10/6	2ヵ月		軽作業 (A型事業所)	20時間以上 30時間未満	わかものハローワーク	求職中	一般で働かれていた経験あり。ゆっくりと作業できることを希望される。	わかものハローワーク
12	精神	自閉症スペクトラム	20	男		R3/1/18	6ヵ月		軽作業 (A型事業所)	20時間以上 30時間未満	わかものハローワーク	求職中	一般で働いた経験もあるが長く続かなかった。就職活動するも中々応募するまでに時間がかかってしまう。	わかものハローワーク ハローワーク
13	精神	自閉症スペクトラム	30	女		R3/3/1	27ヵ月		軽作業 (A型事業所)	20時間以上 30時間未満	直接利用	就労中(カウントなし)	クローズで就労中 フリーでの仕事も考えつつ安定した仕事探していきたいと	ハローワーク 障害者職業センター
14	療育	自閉症スペクトラム	30	女		R3/3/1	14ヵ月		軽作業 (A型事業所)	20時間以上 30時間未満	相談支援	求職中	北部センターに登録をしていたが事業所が変更に伴い中央センターで引き継ぐことに	就労移行支援事業所 A型事業所 ハローワーク

地域障がい者就業・生活支援センターにおける 「発達障がい者向け相談」等の支援力向上のための取り組み



地域障がい者就業・生活支援センターのケース対応スキルが向上することで、地域障がい者就業・生活支援センターで対応可能なケースが増え、また地域の社会資源の整備が進んでいくことにより、福祉サービスや職業訓練を希望するケースは比較的スムーズに社会資源に繋がりがやすくなってきている。

そのため発達障がい者就業支援コーディネーターが対応すべきケースとして、障がい受容が困難であるケース、福祉サービスに馴染まず居場所を得ることから始めなければならないケース、若者支援で対応しきれないケース、医療連携が必要なケース、企業に相談ニーズがあるケース等、より地域のネットワークを広げた長期的な支援が必要なケースへの対応が増えつつある。

そういったケースに対し、各地域障がい者就業・生活支援センターと連携を図りながら、地域の資源を活用し、それぞれの特色を活かしケース対応に取り組む。

地域障がい者就業・生活支援センターとの事例・情報共有勉強会実施状況

(令和3年度6月末時点)

実施月	情報共有・検討内容
令和2年 5月	リモート代替による本年度の「就業支援フェスタ」の内容検討の中で発達事例紹介を検討
令和2年 9月	企業からの支援センターへの登録についての問い合わせについて検討

以降令和2年度はコロナ感染の影響により実施できず

令和3年度は勉強会を実施予定

セミナー等講演会への講師派遣による発達障がい理解の促進 (令和3年度6月末時点)

昨年度に引き続き、新型コロナウイルスの感染の影響によりセミナーや講演会の中止が多く依頼はない状況

地域の支援機関との連携、コーディネートについて

事例	連携機関	コーディネート内容
<p>B型へ継続的に通所をしていたがコロナの影響で在宅作業をしていたしばらくして通所を再開したが、施設内と職員の対応に戸惑いを感じ別のB型への通所を変更したいと検討</p>	<p>地域活動支援センター 就労継続B型</p>	<p>在宅での作業では自分のペース・環境でできていたが、通所を再開したことにより事業所内の雰囲気が変わってしまい自分の居場所がなくなってしまったと感じた。本人の希望もあり別のB型事業所を検討することに。 通所を中心とした事業所に通うことになり本人も新たな目標をもって取り組むことができています。</p>
<p>親の介護のため介護休暇を使用して長期に会社を休まれる。復帰するも親が亡くなったことへの悲しみと不安から仕事に集中できない状態が続く。</p>	<p>ハローワーク 職業センター 一般企業</p>	<p>事業所の移転や本人の仕事の効率の低下もありジョブコーチ支援の導入を行うことに</p>

講座等の開催による情報の収集・発信について

○ 制度活用・就職準備・就職マナー講座等の開催状況 (令和3年6月末時点)

種別	会場等	参加者	参加状況等	内容
一般教育 諸学校向け 講座 (普通高校) (専門・専修 学校等)	東朋高等専修学校など オンラインで実施 (令和3年度実施)	在校生・家族・教職員・ 支援事業者・行政関係者	26事業所 約70名	・社会資源活用や福祉サービス体験等の 予約相談 ・SSTなどを用いた グループワーク
支援学校 支援機関 向け講座	大教大中等部 (地域連携授業)	家族・地域学校教職員 地域支援事業者 地域行政関係者 在校生・教職員	参加	・基礎講座(発達傾向のある方への理解と支援方法) ・地域支援機関担当者によるサービス説明・相談
	住之江支援学校 (通所事業所説明会)		参加	・学生就活相談コーナー ・日中活動場情報の提供 ・余暇支援情報の提供
在校生向け 講座	大教大付属支援学校 (出前講座)	在校生・教職員	参加	・就職前マナー実践講座(面接・身だしなみなど) ・履歴書作成のための基礎講座(書き方・自己アピールの仕方など)
本人活動	シエスタ(B型事業所)	本人・支援者	開催	・余暇活動支援 ・交流会

実施検討していたものもあったが年度末に再度緊急事態宣言が発令され中止になる。今年度については参加人数を限定したりオンラインでの開催を目指しての開催が増えつつある。